



きのくにICTプログラミングコンテスト Switch Up WAKAYAMA2019

和歌山県商工観光労働部産業技術政策課が主催する標記コンテストの一次審査(書類選考)において、本校生徒が見事に選出され、最終審査会に進出しました。

最終審査会は、2月11日(火・祝日)に、和歌山大学にて開催されます。活躍を期待します。
 なお、参加する生徒は次の通りです。

上野山 輝哉(3年) 大西 要吹(3年) 川口 時矢(3年) 御前 政博(3年)

第73回 有田地方科学作品展

1月18日(土)・19日(日)に広川町民体育館において、第73回有田地方科学作品展(主催:有田地方小中学校教育研究会 理科教育研究会)が開催されます。

本校から次の生徒作品15点を出品しました。ぜひ、ご覧になってください。

【1年生】	上野山桃果	楠戸彩夏	佐原詩織	狗巻 葵
	川島菜々子	橋本京佳	楠木香子	白川大晴
【2年生】	上野山律花	田中萌愛	出崎敬悟	林 渚星
	佐原一聡	島田純怜	宮崎 彰	

保田地区 人権尊重学習会

有田市では、有田市、有田市教育委員会、有田市連合自治会、有田市人権尊重委員会の四者主催により、昭和58年度から人権学習の場として地区別学習会を開催しています。

本年度も、保田地区実行委員会により、以下の要領で、「保田地区人権尊重学習会」が開催されることとなりましたのでご案内します。

事前の申込みは必要ありませんので、保護者の皆さまも、ぜひご参加ください。

- 開催日時 令和2年1月25日(土) 19:30~
- 会場 保田小学校 記念館
- 内容 啓発ビデオ鑑賞 「君が、いるから」
- 駐車場 保田小学校 運動場



「君が、いるから」

この作品のテーマは、「子ども・若者の人権」です。

子どもや若者は、社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。今、この時も、虐待やいじめなどにより人権を侵害され、苦しんでいる子どもや若者が「すぐとなり」にいることに、私たちは気づかなければなりません。

この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通じて新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることが奏の成長を通して描かれています。

子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現を目指す人権啓発ドラマです。